



# Flash News

三重大学

第49号

## 目次

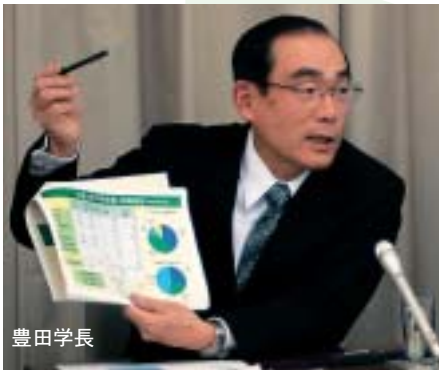
- 学長緊急声明
- 文部科学省・清水高等教育局長が三重大学を視察
- 鈴鹿医療科学大学と協力協定
- エコバッグデザイン表彰式
- 「インターンシップ説明会および事前研修会」を開催

- 百五銀行等と共同で「研究開発・技術相談キャラバン」を開催
- 「第4回三重大学・中部電力連携協議会」を開催
- 第3回高大連携東紀州講座
- 「国際インターンシップ説明会」を開催
- 学長と学生との懇談会

## お知らせ&amp;ご報告

- 総務チーム法務室から
- 広報チームから
- 入試チームから
- 国際交流センターから
- 医学部から

## 学長緊急声明



豊田学長

本学は5月31日、県庁記者室において、政府に向けた学長緊急声明を発表しました。これは、政府の国立大学への財政支援についての議論「地方国立大学への運営費交付金の大幅な削減」を踏まえ、地方における国立大学の存在意義を訴えたものです。この声明を受け、野呂昭彦三重県知事は、定例会見で「このような議論は県としても由々しき問題」と発表され、また、松田直久津市長は、直接文部科学省まで出向かれ「三重大学の存在は地域経済に大きな効果をもたらしている」とした要望書を提出されるなど、三重県内各方面から本学への支援が続々と寄せられています。さらに、6月27日には、県議会議長から学長による説明の機会を設けていただき、県議会議員ほぼ全員が出席する中、豊田学長が「三重大学は今後も自治体や地元企業と連携し、教育・研究を通じた地域貢献をしていきたい」と訴え、議員の皆様から「県議会としてもバックアップしたい」とのご支援をいただきました。

[http://www.mie-u.ac.jp/event/post\\_30.html](http://www.mie-u.ac.jp/event/post_30.html)

## 文部科学省・清水高等教育局長が三重大学を視察

6月26日、文部科学省の清水高等教育局長が来学し、豊田学長らと「地方大学の存在意義～三重大学の地域貢献を中心に～」等について懇談されました。学内視察では、生物資源学研究科(三井研究科長・船岡教授「植物系分子素材の精密機能制御と持続的循環活用システム」等)、医学系研究科・附属病院(駒田研究科長・影山准教授「癌トランスレショナルリサーチ」、内田病院長・西川教授「地域医療との連携について」等)などで説明を受けられました。その後、工学研究科(武田研究科長「リチウム2次電池に関する研究」)では、実験中の学生にも気軽に話しかけられるなど興味深く見学されていました。



清水高等教育局長

## 鈴鹿医療科学大学と協力協定



豊田学長

鈴鹿医療科学大学  
高木理事長 作野学長

6月22日、本学は、鈴鹿医療科学大学との間で、包括的連携に関する協定を締結しました。鈴鹿医療科学大学は、本学の医学部とは異なる医療・福祉関係の学部・学科を有しているため、この連携により、それぞれの教育・研究機能を相互に補完しあい、優れた成果を上げることが期待されます。また、この連携を単なる教育・研究の成果にとどめず、三重県下のメディカルバレー・プロジェクトなど地域の医療体制の充実を図るとともに、県下の工業・経済の発展に大きく寄与することを目指して、今後、連携事業を具体化し強力な関係を築いていきます。

## エコバッグデザイン表彰式

6月26日、本学イベント広場にて標記表彰式が行われ、最優秀賞に小出恵里さん(生物資源学部3年生)のデザインが選ばれました。今回のエコバッグの製作は、本学のレジ袋使用量削減を目的としています。また応募数が約120件におよぶことから、多くの学生が高い環境マインドを持っていることがうかがえます。採用されたデザインに基づきエコバッグを製作し、レジ袋削減に賛同する学生および教職員に10月頃配布する予定です。



## 「インターンシップ説明会および事前研修会」を開催

5月26日、全学のインターンシップ参加希望学生を対象に、標記説明会および研修会が、キャリア支援センター主催で開催されました。野村副学長による挨拶、同センター教員によるインターンシップ実施要領の説明に続いて、白取義之キャリア・カウンセラー（大学生協東海事業連合）によるインターンシップの目標設定とビジネスマナー等の指導が行われました。共通教育の共通セミナーA（インターンシップ）を受講する学部1年生から職業探求を目的とする学部上級生、さらに学んだことを企業で実践したい大学院生まで225名が参加し、熱心に聴講していました。



## 百五銀行等と共同で「研究開発・技術相談キャラバン」を開催

三重大学と(株)百五銀行および(株)百五経済研究所は、昨年3月に締結した産学連携に関する包括協定の一環として、本学のコーディネーターによる個別相談会「研究開発・技術相談キャラバン」を昨年に続いて百五銀行の3支店で開催しました(6/5桑名、6/7松阪、6/12名張)。目的は、地域企業の皆様が取り組んでいる技術や新製品開発に関する課題解決をサポートし、より密着した形で貢献しようとするものです。この相談会に参加する企業は増加しており、これまで23社に上っています。コーディネーターとの相談により、大学教員との共同研究に結びついたり、特に事業性が高い場合は連携可能な企業を紹介するなど、産学連携をより身近に活用していただけるものと期待されています。

## 「第4回三重大学・中部電力連携協議会」を開催

6月13日、標記協議会が総合研究棟Ⅱ第2・3会議室で行われました。この連携協議会は、平成17年8月に締結した包括協定に基づき設置されているものです。今回の協議会では、平成18年度の連携活動状況の報告の後、前田工学研究科教授から中部電力(株)との共同研究の成果報告、続いて、鹿嶋人文学部准教授から中部電力(株)からの受託研究の成果報告が行われました。その後、平成19年度の連携活動計画について協議し、策定されました。

## 第3回高大連携東紀州講座

今年も6月9日～9月22日に、標記講座が木本高校と尾鷲高校で交互開催されます(計8回)。この高大連携は、学習意欲のある高校生に三重大学での教育研究に触れる機会を提供し、本学に対する理解と関心を深めてもらう趣旨でスタートしました。今年の申込み状況によると、毎回30名前後が受講し、そのうち全講座出席者は、木本高校5名、尾鷲高校5名の予定です。今年の講義担当者などの詳細は、[http://www.mie-u.ac.jp/event/post\\_33.html](http://www.mie-u.ac.jp/event/post_33.html)をご覧ください。



## 「国際インターンシップ説明会」を開催

6月20日、三翠ホールで標記説明会が行われ、海外でのインターンシップ制度や参加申請から実施までの流れ、本学での取組支援の内容説明がありました。続いて、一昨年タイの日系企業でインターンシップを体験した学生のプレゼンテーションが行われ、その後の質疑応答では、参加者(15名)から活発な意見交換が行われました。

## 学長と学生との懇談会

6月25日、学長室において、先日に続いて標記懇談会が開催されました。今回は、各学部の3～4年生の学生を対象に行われ、「教育問題」「学生生活問題」等について、学長、教育担当理事と直接話し合いました。教育プログラムや就職サポート等についての積極的な意見交換が行われ、有意義な懇談会となりました。次回は7月12日に、大学院生を対象に開催する予定です。

## お知らせ & ご報告

### 総務チーム法務室から

三重大学におけるコンプライアンスの推進を図るため、「コンプライアンス受付窓口」を学内(法務室)・学外(法律事務所)に設置しました。受付窓口の利用方法等については、本学ホームページの「三重大学コンプライアンス受付窓口の設置について」(<http://www.mie-u.ac.jp/soumu/compliance.htm>)をご覧ください。

### 広報チームから - 《みえアカデミックセミナー2007》が7月8日～8月2日に開催

本学は7月16日(月・祝)に「ココロほのめかす"あなた"とは」のテーマで講演します。

詳しくは、<http://www.center-mie.or.jp/manabi/jigyo/osusume20070708.html>をご覧ください。

### 入試チームから - 《三重大学オープンキャンパス》

「楽しさや喜びを体験してみませんか？」高校生、保護者および進路指導教諭等を対象に、8月3日～10日の間、オープンキャンパスを開催します。各学部ではミニ講義、施設見学、相談コーナー等趣向を凝らしてお待ちしていますので、ご近所等で対象の方がおられましたらご連絡いただきますようお願いいたします。詳しくは<http://www.mie-u.ac.jp/nyushi/>をご覧ください。

### 国際交流センターから - 《学長表敬訪問 & 大学訪問》

#### ○西安理工大学(中国)

1. 日時：平成19年6月4日 10:00～11:00
2. 訪問者：劉西安理工大学学長 ほか4名
3. 同席者：三井生物資源学研究所長、平松評議員工学研究科

#### ○シュルビジャヤ大学(インドネシア共和国)

1. 日時：平成19年6月15日 13:30～14:30
2. 訪問者：ザイナル・リドゥホ・ジャファール学長 ほか8名
3. 同席者：江原生物資源学研究所教授

#### ○大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館(ドイツ)

1. 日時：平成19年6月29日 15:00～16:30
2. 訪問者：ゲロルト・アメルンク総領事 ほか1名
3. 同席者：大河内人文学部教授

#### ○英国国立ウェールズ大学スウォンジー校(英国)

1. 日時：平成19年6月29日 15:00～16:30
2. 訪問者：テクニカルパフォーマンスエンジニアリングテクノロジーマネジャー ポール・ホランド氏 ほか1名
3. 同席者：国際戦略室室員5名

### 医学部から

6月6日、三翠ホールにおいて、解剖体感謝式が行われました。献体された方やそのご遺族に感謝の気持ちを捧げました。

